

初、東南アジア 文楽公演 6/28 ~ 29



6月28日～29日にマレーシア(クアラルンプール)にて 桐竹勘十郎が率いる文楽箏助会により東南アジアで、世界に誇る日本の伝統芸能である文楽公演が初めて上演されます。

2013年は、日・ASEAN友好協力40周年に加え、クアラルンプール日本人会(以下 JCKL)設立 50周年、マレーシア日本人商工会議所設立 30周年と、3つの周年が重なる日本とマレーシアの交流における歴史的な節目となり、長年にわたる両国の関係を記念するに相応しい年です。文化庁の助成事業として、マレーシア国内ではマレーシアを代表する民間劇場クアラルンプール・パフォーミングアーツセンター(klpac)と、クアラルンプール日本人会、在マレーシア日本国大使館、国際交流基金クアラルンプール日本文化センターの3者による実行委員会、各企業のご協力・ご協賛のもと公演を実施します。

BUNRAKU – Traditional Japanese Puppet Theatre

日時 2013年6月28日(金)午後8:30、29日(土)午後3時、午後8:30 3回公演

会場 クアラルンプール・パフォーミングアーツセンター(klpac) ステージ 2

料金 大人 RM60、割引 RM30(学生、障がい者、高齢者、JFKL/JCKL/TAS CARD メンバー)
プレミアムチケット RM300(レセプションご招待など特典付き)、RM100(直筆サインなど特典付き)

出演 文楽箏助会 (桐竹勘十郎、竹本津駒大夫、竹本千歳大夫、鶴澤燕三、鶴澤清直、鶴澤寛太郎、吉田箏二郎、吉田勘弥、吉田一輔、吉田箏紫郎、吉田箏次、桐竹勘次郎、桐竹勘介、望月太明十郎)

演目 二人三番叟、本朝廿四孝より奥庭狐火の段、三業(床、三味線、人形)解説

主催 文楽マレーシア公演2013実行委員会(クアラルンプール日本人会、在マレーシア日本国大使館、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター)、クアラルンプール・パフォーミングアーツセンター(klpac)

特別協賛 マレーシア日本人商工会議所(JACTIM) **助成** 文化庁(国際芸術交流支援事業)

協賛 イオンマレーシア、アジア・大洋州三井物産株式会社、マレーシア航空、日本マレーシア倶楽部

認定 日・ASEAN友好協力40周年記念、クアラルンプール日本人会設立 50周年、マレーシア日本人商工会議所設立 30周年

主催 文楽マレーシア公演2013実行委員会
クアラルンプール・パフォーミングアーツセンター



桐竹勘十郎(三世) きりたけ かんじゅうろう



昭和28年3月1日(1953年)大阪生れ、昭和42年7月 文楽協会人形部研究生となる。三世吉田蓑助に師事、吉田蓑太郎を名乗る。昭和43年4月文楽協会技芸員となる。初役は「壇浦兜軍記・阿古屋琴責」の水奴(大阪毎日ホール)。平成15年4月人間国宝であった亡父の名跡を継いで三世桐竹勘十郎を襲名披露(大阪国立文楽劇場、東京国立小劇場)。

主な受賞暦に、芸術選奨文部大臣新人賞(平成7年3月)、芸術選奨文部大臣賞(平成20年)、紫綬褒章受賞(平成20年)、日本芸術院賞受賞(平成21年度(第66回))がある。海外公演では、北米、南米・ヨーロッパ・豪州、アフリカと、五大大陸で公演を実施。新作浄瑠璃の発表も行う。

文楽蓑助会

文楽人形遣いで人間国宝、芸術院会員の吉田蓑助とその一門の技芸員を中心として、文楽を広く海外に紹介し、文楽を通して日本と海外の国々との文化交流の促進を計るのを目的とするための団体。名誉顧問は吉田蓑助、代表は人形遣い桐竹勘十郎。

文楽とは

文楽は日本を代表する伝統芸能の一つで、太夫・三味線・人形が一体となった総合芸術。その成立ちは約 330 年前の江戸時代初期にさかのぼる。1885 年の竹本座創設に始まり、竹本義太夫の義太夫節と作者である近松門左衛門とのコラボにより、人形浄瑠璃は全盛期を迎えた。その後、いくつかの人形浄瑠璃の小屋が盛衰を繰り返し、淡路の植村文楽軒が大阪ではじめて一座が中心的な存在となり、やがてその名前をとり、「文楽」が人形浄瑠璃の代名詞となり今日に至る。人形浄瑠璃文楽は、2009 年に「世界無形遺産」として登録された。

文楽は、歌舞伎、能楽(能・狂言)とともに日本のみならず世界中で愛されている。古くは昭和37年(1962年)のアメリカ・シアトルをはじめとして、ヨーロッパ、ロシア、中南米、韓国、オーストラリア、昨年は初のアフリカ大陸、アルジェリアでの公演など、世界中を魅了してきた。

クアラルンプールパフォーミングアーツセンター(klpac)

2005 年、かつて列車の整備工場があった Sentul にマレーシア初の民間劇場としてオープン。公演内容はコンサート、ダンス、ドラマ、ミュージカルなど多種多彩で、ベテラン劇団から地元の若者グループ、シンガポールやオーストラリアなど諸外国からの舞台も上演される、マレーシア有数の劇場。



日本人学校でのワークショップ

文楽の歴史や人形の作りを知るためのワークショップをマレーシア日本人学校で開催します。日本でも間近に見ることの無い文楽の人形や所作を、子供たちに直接体験していただき、伝統の大切さや文楽の魅力を知っていただきます。

日時 2013 年 6 月 28 日(金) ※詳細はお問い合わせください。

【お問い合わせ】

国際交流基金 文化事業部 アジア・大洋州チーム 遠藤 電話: 03-5369-6062

文楽マレーシア公演 2013 実行委員会 事務局 (国際交流基金クアラルンプール日本文化センター内)

担当: 谷地田(やちた) 電話 +60-3-2284-622 8(マレーシア) メール press@jfkf.org.my